競技者注意事項　～2021　混成記録会～　訂正版

１．競技規則について

本大会は２０２１年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。

２．練習について

練習は指示された場所・時間で行う、ただし投擲の練習は試合直前に係員の指示により現場で行う。

３．招集について

⑴　３密の回避として、招集を実施しない。直接出発点または、試技場に集合する。

⑵　棄権する旨の連絡は、大会開始前に各校顧問より記録室に連絡する。

⑶　招集完了時刻　　トラック 競 技……１５分前に開始し１０分前に終了する。

フィールド競技……３０分前に開始し２０分前に終了する。

①集合時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理する。

②競技者は、アスリートビブスの確認を受け、腰ナンバー標識（１枚）を受け取り、出発までに右腰部やや後方につける（トラック競技のみ）。

③２種目を同時に出場する競技者は、集合時刻までに、その旨を本人または代理人が、出発係に届け出る。

４．競技について

⑴　トラック競技のレーン順・フィールド競技の試技順は、プログラム記載の数字で示すとおりとする。

⑵　トラック競技について

①計時はすべて写真判定装置を使用する。同記録の場合は、より細かく優劣を判定して順位を決定する。（1/1000 秒単位で確認し、差が認められた場合を着差とする。）

②レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。

③短距離走では、競技者の安全のため、決勝ライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。

④スタート方法は、１回目から不正スタートした競技者を失格とする。四種競技では全体の２回目以降に不正スタートのした競技者を失格とする。

⑤競技者はレース中のマスク着用は義務づける必要はない。招集中・移動中・待機中はマスクを着用するように呼び掛ける。マスク着用による熱中症に気をつける。

⑶　フィールド競技について

①走高跳・ジャベリックスローに出場する競技者は、粘着テープをマーカーとして２ヶ所まで使用することができる（ただし、曲走路内側に限る）。

②フィールド競技における競技場内での練習は２回とし、すべて競技役員の指示に従う。指示以外の練習は認めない。

③三段跳の踏切位置は９mまたは８mと、事前に申告すること。

④四種競技の走高跳におけるバーの上げ方は、下記の通りとする。

四種男子走高跳　練習 1m20　開始 1m25～(＋5cm)、1m45～(＋3cm)

四種女子走高跳　練習 1m05　開始 1m10～(＋5cm)、1m30～(＋3cm)

⑷　競技用靴について

競技用シューズは、本大会はWA規則第１４３条（ＴＲ５：シューズ）を適応する。規定シューズ以外のものを使用している場合は出場不可もしくは失格とする。（フィールドは除く）全天候性舗装スパイクのピンは、9mm 以下。ただし走高跳は１２mm 以下とする

５．一般的注意事項

⑴　競技中に発生した傷害・疾病についての応急処置のみ主催者にて行う。

⑵　大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあっても責任を負いかねるので十分注意する。

⑶　遺失物については大会総務係で保管する。保管期間は競技会終了１週間程度とする。

連絡先：大成中学校　西岡大輔(0738-22-1086)